

くすりの適正使用協議会

平成27年8月吉日

関係各位

くすりの適正使用協議会
慶應義塾大学薬学部医薬品開発規制科学講座

くすりの適正使用協議会・慶應義塾大学薬学部医薬品開発規制科学講座
共催シンポジウム

健康寿命の延伸と医薬品リテラシーの向上

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、くすりの適正使用協議会の活動に、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度「健康寿命の延伸と医薬品リテラシーの向上」をテーマとして、慶應義塾大学薬学部医薬品開発規制科学講座と共催シンポジウムを企画いたしました。

高齢化の真只中にある我が国にとって、健康寿命の延伸は国民や医療の専門家にとって第一の関心事であり、またわが国における各種医療制度の維持および国民の健康保持推進のシンボルとなっております。これまで、国、医療・医薬品関連の学術団体、各領域の専門家、産業界、アカデミアなどがその重要性を指摘し、それぞれの領域で努力を重ねてきておりますが、最終的には国民一人ひとりの認識とそれに基づく行動の改革が目標到達の鍵であると考えます。

そこで、この領域の専門家、製薬企業、アカデミア、一般の方（医療消費者や患者）、マスコミ関係者および関連する行政に携わる方々にお集まり戴き、今日の医療を支えている医薬品全般に焦点を当て、その適正使用の推進を健康寿命の延伸のひとつの軸として活かす方策について幅広く議論してまいりたいと存じます。共通の目標である健康寿命の延伸について、その将来に向けたアプローチを一層明確にすることを目的に開催いたします。

皆様におかれましては、是非、本シンポジウムにご出席を賜りますようよろしくお願い申し上げます。
ご出欠につきましては添付の返信用紙にご記入の上、9月15日（火）までにFAX、もしくはE-mailにてご返信いただきたくお願い申し上げます。

なお、会場定員の200名になり次第、締め切らせていただきます。ご了承くださいませようお願いします。

謹白

【お問い合わせ先】 くすりの適正使用協議会事務局（担当：石橋、谷村）
TEL:03-3663-8891 E-mail: info@rad-ar.or.jp

—記—

【日時】平成27年9月25日(金) 13:00—17:00 (12:15 受付開始)

【会場】慶應義塾大学薬学部 マルチメディア講堂(芝共立キャンパス)

〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30 TEL:03-3434-6241

プログラム

(敬称略)

司会:藤原 昭雄(くすりの適正使用協議会 副理事長)

13:00-13:30

祝辞

神田 裕二(厚生労働省 医薬食品局長)

開会挨拶

望月 眞弓(慶應義塾大学 薬学部長)

主旨説明

黒川 達夫(慶應義塾大学薬学部医薬品開発規制科学講座 教授)

13:30-15:40

講演

医師の立場から	鈴木 邦彦(公益社団法人日本医師会 常任理事)
薬剤師の立場から	有澤 賢二(公益社団法人日本薬剤師会 常務理事)
行政の立場から	紀平 哲也(厚生労働省 医薬食品局 総務課 課長補佐)
マスコミの立場から	高橋 圭史(読売新聞社)
製薬企業の立場から	宇田 恒信(日本製薬団体連合会 安全性委員会委員長)
消費者・患者の立場から	長谷川 三枝子(日本リウマチ友の会 会長)

15:40-16:00

休憩

16:00-16:45

パネルディスカッション および 質疑応答

座長: 黒川 達夫

16:45-17:00

統括

17:00

閉会

* プログラム内容は予告なく変更する場合がございます。

FAX 返信用紙

FAX: 03-3663-8895

くすりの適正使用協議会 行

シンポジウム

「健康寿命の延伸と医薬品リテラシーの向上」

日時: 平成 27 年 9 月 25 日(金) 13:00~17:00

場所: 慶應義塾大学薬学部マルチメディア講堂(芝共立キャンパス)

[交通アクセス]

- ・浜松町駅(JR 山手線/JR 京浜東北線)徒歩 10 分
- ・御成門駅(都営地下鉄三田線)徒歩 2 分
- ・大門駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄大江戸線)徒歩 6 分

□ シンポジウムに出席します

*出席の方のみご返信ください

申込締切 9 月 15 日(火)

[定員 200 名]

ご芳名: _____

ご所属: _____

部署名: _____

TEL/E-mail: _____